



キラップ[®]

フロアブル

うまい汁は吸わせない！

オオトゲシラホシカムシ

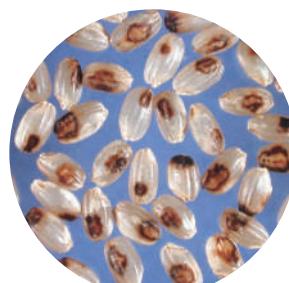
アカヒゲホソミドリカスミカメ

ミナミアオカムシ

アカスジカスミカメ



製品情報は
こちら



カムシ吸汁による斑点米

- アカヒゲホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメなどカムシ類に対して優れた効果を発揮します。
- カムシ類防除で収穫物(米)の等級に影響する斑点米の発生を抑制します。
- イナゴ類、イネドロオイムシにも高い効果を示します。

適用害虫および使用方法(一部抜粋)

2023年4月現在の登録内容

作物名	適用場所	適用害虫名	希釈倍数(倍)	使用液量	使用時期	使用回数*		使用方法	
						本剤	エチプロール		
稻 (育苗箱)	一	イネドロオイムシ	100~200	育苗箱(30X60X3cm、 使用土壤約5ℓ) 1箱当り0.5ℓ	移植3日前~ 移植当日	1回	2回 (移植時までの 処理は1回)	灌注	
稻		イナゴ類	2,000	60~200ℓ/10a	収穫14日前まで	2回 (は種時(直播) または 移植時までの 処理は1回)	散布	散布	
		ウンカ類 カメムシ類	1,000~2,000						
		500	25ℓ/10a			2回 (は種時(直播) または 移植時までの 処理は1回)	空中散布		
		8~16	0.8ℓ/10a				無人ヘリコプターによる散布		
		イネドロオイムシ	2,000	60~200ℓ/10a			散布		
だいす えだまめ		500	25ℓ/10a	100~300ℓ/10a	収穫7日前まで	2回	無人ヘリコプターによる散布	散布	
水田作物 畑作物 (休耕田)		16	0.8ℓ/10a						
ヨシ、オギ、スキ、 セイタカアワダチソウ 等の多年生雜草が 優占している休耕田		カメムシ類	2,000	60~200ℓ/10a	—	—	—	散布	

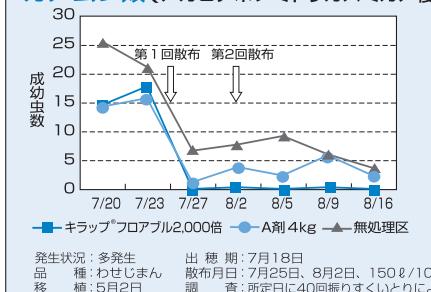
*印は収穫物の残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

※その他適用作物にかんきつ、りんご、かき、マンゴー、茶があります。

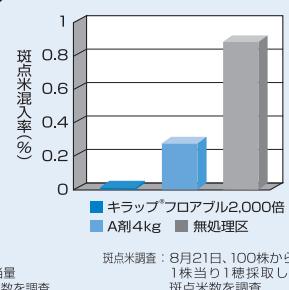
試験事例

- アカヒゲホソミドリカスミカメに対しては、出穂の7~10日後およびその7~10日後が散布適期です。(各地で推奨されている散布時期に従ってご使用下さい。)

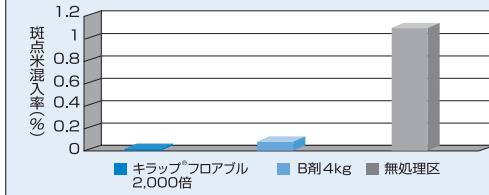
カメムシ類(アカヒゲホソミドリカスミカメ優占)



平成13年 新潟県農業総合研究所

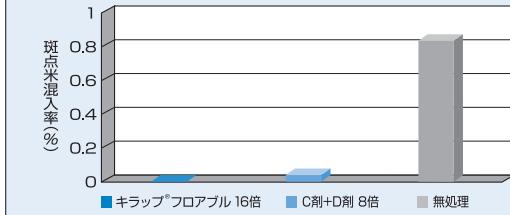


カメムシ類(トゲシラホシカメムシ主体)



平成13年 (一社)石川県植物防疫協会

カメムシ類(アカヒゲホソミドリカスミカメ主体)



平成17年 秋田県農林水産技術センター農業試験場

使用上の注意事項(一部抜粋)

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきって下さい。
- 本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振って下さい。
- 散布液量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせ調節して下さい。
- 本剤を稻において希釈倍数500倍で散布する場合は、所定量を均一に散布できる乗用型の速度連動式地上液剤少量散布装置を使用して下さい。
- 本剤を無人ヘリコプターによる散布および空中散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布は散布機種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 散布によって動植物の被害や自動車の塗装等に被害を与えるおそれがあるなど、各分野に影響があるもので、散布区域内の諸物に十分留意して下さい。
 - 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意して下さい。
 - 散布終了後は次の項目を守って下さい。
 - 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄して下さい。
- 機体の散布装置は十分洗浄し、葉液タンクの洗浄液は安全な場所に処理して下さい。
- 蜜に対しても影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにして下さい。桑にかかった場合には25日以上経過してから給桑して下さい。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
 - ミツバチの巣箱およびその周辺にかからないようにして下さい。無人ヘリコプターによる散布および空中散布でそれに飛散するおそれがある場合には使用しないで下さい。
 - 受粉促進を目的としてミツバチ等を放蜂中の施設や果樹園等では使用をさせて下さい。
 - 関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用による情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
 - 散布器具、容器等の洗浄水は河川等に流さず、容器は圃場などに放置せず適切に処理して下さい。
 - 適用作物群に属する作物またはその新品种に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
 - 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。



●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎ 0120-575-078 9:00~12:00、13:00~17:00
土曜日および会社休日を除く

F-1070 23.04.NY